

# 慢性疼痛治療に使える できる心理師(士)の道具箱

現在、臨床心理にはさまざまな理論・技法が存在し、現場で働く心理士の大半はいくつかの技法(=道具)を必要に応じて使い分ける、または併用する折衷派が大半だと思います。一つの技法に拘泥することなく引出しの中の道具箱を日々更新し、いつでも使えるよう鍛錬することが「できる心理師(士)」の在り方と考え、今回、そんな「できる心理師(士)」を代表して3名の先生に症例を介して道具箱の中身をご紹介します。また、講演では日々心理師(士)と協働する医師の立場から「できる心理師(士)とは」「心理師(士)の活用術」についてお話しいただきます。

2023年

1/21 (土) 14:00~16:30

参加費  
無料

ハイブリット開催 (zoom/CIVI研修センター新大阪東E704)

症例提示① ブリーフセラピーの立場から 14:05~14:30  
富永病院 脳神経内科・頭痛センター 後藤 あかり先生

症例提示② 力動的心理療法の立場から 14:30~14:55  
奈良県立医科大学附属病院 ペインセンター 大倉 裕理先生

症例提示③ 認知行動療法の立場から 14:55~15:20  
東邦大学医療センター大森病院心療内科 嶋 美香先生

座長：よしえクリニック 首藤 由江先生

講演 15:30~16:15

「身体医のための心理職協働の手引き書」

関西医科大学心療内科学講座 水野 泰行先生

座長：神戸大学大学院人間発達環境学研究科 安達 友紀先生

質疑応答 16:15~16:30

事前に参加申込みをお願いします

慢性疼痛の治療に興味のある方は職種問わずご参加いただけます。

登録フォーム

参加申込

下記のURLまたは右記QRコードの登録フォームよりお願いします。

<https://forms.gle/MQvE3JDttJ5jvzrs9>



世話人：関西医科大学心療内科学講座 加藤文恵